

# アスベスト被害の根絶をめざす 京都の会ニュース

2013年8月28日 第2号  
アスベスト京都の会 発行  
事務局：TEL075 (662) 5321  
(京建労本部気付)

## 拡大幹事会に14団体・21人が参加！石原会長がミニ講演 シンポ成功・署名5000筆を確認



【参加団体】京都総評、職対連、いの健、京建労、医労連、民医連、私教連、府職労、市職労、自治労連、全国一般、国公、けいわん、自由法曹団

5月17日に120人の参加で結成された「京都の会」の第1回拡大幹事会が8月8日に開催され、14団体・21人が参加しました(写真)。

拡大幹事会は、石原会長(立命館大学教授)のミニ講演「アスベスト健康被害と今後の課題」で始まり、続いて池田事務局長から「京都の会」の活動報告と今後の取り組み提案、各団体の取り組み交流があり、最後に京都総評の梶川事務局長が閉会のあいさつをおこないました。

### ミニ講演 アスベスト健康被害と今後の課題(要旨)

#### ① アスベストと健康被害

アスベストには10種類あり、代表的なものは青石綿、茶石綿、白石綿。アスベストは防火性、耐火性に優れるなど「奇跡の鉱物」と呼ばれた。アスベストの使用実態は、吹付けアスベスト、アスベストを含む保温材、アスベストを含む耐火被覆板、アスベスト成形版など8割～9割が建築材料として使われた。

アスベストによる主な健康被害は、石綿肺や肺がん、中皮腫を発症し、発症まで潜伏期間が長いことから「静かな時限爆弾」と言われている。



#### ② 建築物の一連のサイクルとアスベスト被害

アスベストの主な産出国は、ロシア・中国・カナダなど。東南アジアではいまだに白石綿が屋根材などに使用されている。

アスベストは建材工場労働者や周辺住民にも被害を及ぼした。アスベストの使用は、アスベスト含有量の制限などの段階を経て2006年に全面禁止された。

アスベスト関連疾患による労災認定のほぼ半数は、建設労働者。建設労働者の死因に関する疫学的考察では、建設労働者では中皮腫による死亡リスクが一般の2.97倍、肺がん(アスベスト

由来とは限らず)が 1.39 倍と非常に高いことが明らかになる。

建築物に使用されたアスベストが健康被害をもたらしている。学校では体育館の天井や倉庫などに吹付けアスベストが多く使用され、文房具屋の倉庫の吹付けアスベストなどによって被害を受けるケースもある。国交省は 1000 m<sup>2</sup>を超える民間建築物について吹付けアスベストの有無の調査・対策の指導をおこなっているが強制力はなく、1000 m<sup>2</sup>以下の建築物に対しての調査はいまだに実施されていない。建築物の解体では、正しい手順を守らなかった場合の罰則の弱さや、アスベスト調査・除去専門家のライセンス制度の弱さなどが指摘されている。

震災等の災害時のアスベスト問題では、地域防災計画に震災時のアスベスト対策が盛り込まれている(予定を含む)自治体が全体の 26%と非常に少なく、地域防災計画に反映されていない実態が明らかになった。

### ③ 今後必要なこと

既存建築物や廃棄物などストックアスベスト対策の実施(調査・対策)、建物解体時における対策を徹底できる仕組みの確立、廃棄対策の徹底、工場労働者や建設労働者に加えて建物利用者の被害の掘り起こし、災害時対策の徹底、より充実した救済・補償制度の確立。

## \* 拡大幹事会の確認事項

- ① 10月19日のシンポジウム(京都アスニー)を成功させよう。
- ② アスベスト訴訟支援に全力を挙げよう。とりわけ、12月25日に結審を迎える建設アスベスト九州訴訟勝利のために、「京都の会」として5000筆を目標に公正判決署名に取り組もう。
- ③ 「京都の会」会員拡大に取り組もう。

## 各団体からの発言



### ◆全国一般 山縣さん(左写真)

これまでのアスベスト署名は組合員数を上回る署名が集まった。建設アスベスト訴訟も可能な限り参加してきた。引き続き「京都の会」の加入団体を増やしていこう。

### ◆いの健京都センター 新谷さん

近所の電気量販店のガレージに吹付け材が、むき出しになっている(アスベストかどうか不明)。見つけた場合に、どこに検査依頼・除去依頼を連絡したらいいか一般市民は分からないと思う。自治体に窓口を作らせていくことが重要。

退職者を含むアスベスト健康被害の掘り起こしは、各組合の共済制度との連携が必要だと思う。

### 泉南アスベスト署名を原告団に



「京都の会」が6月末まで取り組んだ泉南アスベスト訴訟の公正判決署名(1陣訴訟が係属する最高裁宛が1,532筆、2陣訴訟が係属する高裁宛が1,400筆)を7月18日に泉南の原告団に手渡しました。

泉南2陣訴訟は8月23日に結審を迎え、12月25日に判決が言い渡されます。